

「最近の介護保険制度の見直しに関する報道」について

平成13年7月6日

最近、高知県のタウンミーティングなどでの介護保険制度の改善についての大臣発言が一部で報道されているところです。

これに関し、本日、閣議後の記者会見で、厚生労働大臣より別添の発言がありましたので情報提供いたします。

別添にありますとおり、大臣の発言は制度の中で改善できるものは改善していく、制度の根幹に関わることを変更しようとするものではないという趣旨であることにご留意願います。

○閣議後記者会見（抜粋）

（H13. 7. 6（金） 厚生労働省記者会見場）

（質問）介護保険制度の見直しについて、大臣の発言がいくつか報道されているんですけども、制度の根幹に関わるような法的な改正を前倒しを行いたいというような考えが、大臣の中であるのでしょうか。

（大臣）高知で私が申しましたのは、これは現在の制度の中における改善策というものがですね、その改善もこれは3年先でなければならぬというようなわけではない。だから今の制度の中でできるだけ改善策というのは、それはもう今年の10月であろうと何であろうと持っていきたいということをお願いしたわけでございます。そして昨日あたり出ております20歳からとかといったような、いわゆる根幹に関わるようなことを現在検討しているわけではございません。また現在の検討スケジュールにもございません。ただ将来の問題としてそういうこともあり得るかというご質問をいただきましたから、これはもう少しやってみないとわかりませんが、将来の財政運営等について非常に無理があるということであれば、それはその時に検討課題の一つになるかもしれませんということをお願いしたわけでございまして、現在検討してるとか、検討スケジュールの中に出てるといっていただけではございません。

（質問）2003年4月から20歳以上の人から保険料を貰うというような記事だったんですが、そういうことはないんですか。

（大臣）今のところありません。そうしたことは全体に関わることでありますから、よく検討をしてからでないと、それはできないことだと思います。